

体協

TOYAMA

北京2022冬季オリンピック



写真提供:読売新聞社

クロスカンリースキー
山下 陽暉 選手



写真提供:読売新聞社

クロスカンリースキー
廣瀬 嶮 選手

CONTENTS

第77回国民体育大会
北京2022冬季オリンピック・パラリンピック
富山県民スポーツ応援団
富山から世界へ
未来のアスリート発掘事業
令和4年度富山県体育協会表彰
第32回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会
スポーツ少年団活動紹介

第75回富山県民体育大会
とやまスポレク交流大会2022
地域スポーツ推進事業
富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
総合型地域スポーツクラブ紹介
公認スポーツ指導者協議会
加盟団体紹介
令和4年を振り返って 富山県高等学校体育連盟
令和4年を振り返って 富山県中学校体育連盟
令和4年度富山県体育協会役員

Vol.31
2023

第77回国民体育大会



＝ 総評 ＝

公益財団法人富山県体育協会副会長
第77回国民体育大会
富山県選手団 副団長

喜多 進



総合開会式で健闘を誓う富山県選手団

日頃から本協会の充実と発展、また本県におけるスポーツの振興にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、第77回国民体育大会は、令和4年1月に栃木県日光市でスケート・アイスホッケー競技会、2月には秋田県鹿角市でスキー競技会、9月～10月には栃木県を中心に本大会が開催されました。

冬季大会のスケート競技において、ダイチ(株)の高橋菜那選手が成年女子1500mで2位、3000mで3位に入賞したのを皮切りに、アイスホッケー競技少年男子は初となる7位入賞、更には、スキー競技においてもクロスカントリー種目成年男子Cの藤田紘基選手の優勝をはじめ、9種目で入賞するなど冬季大会全体では13種目で入賞を収め、本大会に向けて幸先の良いスタートを切りました。

3年振りに開催となった本大会では、バドミントン競技成年男子のトナミ運輸(株)の5連覇達成や、ウエイトリフティング競技成年男子の村上英士朗選手の大会記録・日本記録を更新しての優勝、水泳競技(競泳)少年女子Bの中嶋碧選手の優勝など、12種目で上位入賞を果たしました。

この結果、男女総合成績は29位となり、目標に掲げた20位台を達成することができました。このことは、自転車競技、バドミントン競技、相撲競技等の活躍にみられるように種別を越えてサポートし合うなど、選手・監督が「チーム富山」として一体となって戦いぬくことができた結果であると感じております。コロナ禍で選手強化等にご苦労も多々あったと思いますが、今回、入賞を果たせなかった競技団体におかれましては、特別国民体育大会鹿児島国体における奮起に期待したいと思います。

今後とも、本協会では、競技団体が実施する強化合宿・遠征事業への支援や「未来のアスリート発掘事業」、「とやまスポーツ道場開催事業」などの更なる充実を目指すとともに、スポーツ医・科学に基づいた「TOYAMAアスリートマルチサポート事業」を競技団体と連携しながら、より効果的に展開し、全国並びに世界の檜舞台で活躍できる選手の育成に努めてまいりたいと考えています。

終わりに、本県の競技力の向上にご尽力いただいている各競技団体をはじめ関係の皆様を重ねて感謝申し上げるとともに、選手・監督の皆さんのますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。



第77回国民体育大会 総合成績

		冬季大会	本大会	総合成績
男女総合成績	得点	99.0点	756.5点	855.5点
	順位	17位	32位	29位
女子総合成績	得点	44.0点	511.5点	555.5点
	順位	16位	28位	29位



バドミントン成年男子は
5大会連続優勝を達成

第77回国民体育大会 栄光の優勝者



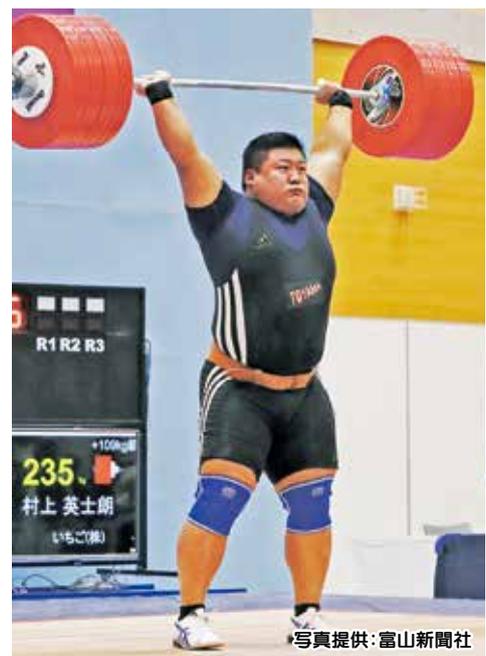
スキー 成年男子C
クロスカントリー5km 1位
藤田紘基選手



水泳(競泳) 少年女子B
100mバタフライ 1位
200m個人メドレー 2位
中嶋碧選手



バドミントン 成年男子 1位
荒木純監督、金子真大選手、大林拓真選手、秦野陸選手



ウエイトリフティング 成年男子
+109kg級クリーン&ジャーク 1位
+109kg級スナッチ 2位
村上英士朗選手

第77回国民体育大会 競技別入賞

男女総合成績（天皇杯）

競技名	順位
相撲	2位
バドミントン	2位
スキー	5位
ホッケー	6位

女子総合成績（皇后杯）

競技名	順位
自転車	1位
ホッケー	3位
スキー	6位
馬術	6位

第77回国民体育大会 上位入賞者



スケート 成年女子
スピード1500m 2位 3000m 3位
高橋菜那選手



スキー 成年男子C
ジャイアントスラローム 3位
水口雄太選手



スキー 成年女子A
クロスカントリー-5km 2位
廣瀬悠選手



水泳 少年男子B
競泳 100m平泳ぎ 2位
鎌田望琥人選手



スキー 成年男子
クロスカントリー-リレー 2位
富山選抜
(竹原義之選手、清水康平選手)
宇田彬人選手、山崎大翔選手)



相撲 少年男子
団体 2位
高岡向陵高等学校



ホッケー 少年女子 2位
石動高等学校



自転車 女子
チームスプリント 2位
富山選抜(石中英選手・下条末悠選手)



ウエイトリフティング少年男子
96kg級スナッチ 3位
宮越雄哉選手



バドミントン 少年男子 3位
高岡第一高等学校
(野村光河選手、松久知弘選手)
(大田隼也選手、中田真琴監督)



カヌー 少年女子
スプリントカヤックペア200m 3位
富山選抜(晴被葵選手・深川海那選手)

第77回国民体育大会 入賞者一覧

冬季大会 令和4年1月24日(月)～1月30日(日)〔スケート競技会・アイスホッケー競技会〕 栃木県
令和4年2月18日(金)～2月20日(日)〔スキー競技会〕 秋田県

競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)	競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)
スケート	成年女子	スピード1500m	2位	高橋 菜那(ダイチ株)	スキー	少年男子	クロスカントリリー	8位	若林 拓哉(南砺平高等学校)
		スピード3000m	3位						水口 皓仁(南砺平高等学校)
	成年男子	ショートトラック500m	6位	秋元 航太(三洋商事株)					大瀬 丈翔(南砺平高等学校)
ジャイアントスラローム		3位	水口 雄太(南砺市役所)	山本 恵大(南砺平高等学校)					
スキー	成年男子A	クロスカントリリー10km	6位	山崎 大翔(早稲田大学)		女子	クロスカントリリー	5位	宮崎 美樹(南砺平高等学校)
	成年男子C	クロスカントリリー5km	1位	藤田 紘基(南砺平高等学校(教))					山本 茉由子(南砺福野高等学校)
	成年女子A	クロスカントリリー5km	2位	廣瀬 悠(早稲田大学)					廣瀬 悠(早稲田大学)
									宇田 彬人(株長田組)
	成年男子	クロスカントリリー	2位	山崎 大翔(早稲田大学) 竹原 義之(農事組合法人野口農事組合) 清水 康平(株長田組)	成年男子A				スペシャルジャンプ
成年男子A					コンバインド	8位	山元 一馬(株サンコレクト)		
アイスホッケー					少年男子	7位	富山選抜		

本大会 会期前:令和4年9月10日(土)～9月19日(月)、中心会期:令和4年10月1日(土)～10月11日(火)
栃木県一円、千葉県(セーリング)

競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)	競技名	種別	種目	順位	選手及びチーム名(所属)
陸上競技	成年男子	100m	7位	福島 聖(株富山銀行)	ハンドボール	少年女子		5位	富山選抜
	少年男子A	300m	5位	長谷 海翔(龍谷富山高等学校)		成年男子	ケイリン	8位	林 佳宗依(日本大学)
	少年女子B	100mH	8位	松木 愛結(龍谷富山高等学校)	自転車	女子	チームスプリント	2位	富山選抜(石中・下条)
少年男子B	【競泳】100m平泳ぎ	2位	鎌田望琉人(高岡商業高等学校)	女子		500mタイムトライアル	5位	石中 葵(富山大学職員)	
少年男子B	【競泳】100mバタフライ	4位	鎌田望琉人(高岡商業高等学校)	女子		ケイリン	5位	下条 未悠(日本競輪選手会)	
少年男子B	【競泳】4x100mメドレーリレー	5位	富山選抜	女子		個人ロードレース	7位	滝川 陽希(富山県立中央病院)	
水泳	少年女子A	【競泳】400m個人メドレー	5位	山川 陽菜(富山東高等学校)	相撲	少年男子		2位	富山選抜(高岡向陵高等学校)
	少年女子A	【競泳】200mバタフライ	7位	大上詩央里(富山国際大学付属高等学校)	成年女子	馬場馬術	4位	牧野 真弥(牧野ライティングリサーチ)	
	少年女子B	【競泳】100mバタフライ	1位	中嶋 碧(南砺市立城端中学校)	馬術	成年女子	自由演技馬場馬術	4位	牧野 真弥(牧野ライティングリサーチ)
	少年女子B	【競泳】200m個人メドレー	2位	中嶋 碧(南砺市立城端中学校)		少年	団体障害飛越	8位	富山選抜(甲部・山田)
	少年女子B	【競泳】4x100mフリーリレー	5位	富山選抜	フェンシング	成年女子	エペ	4位	富山選抜
	少年女子	【飛込】飛板飛込	8位	高桑 沙希(高岡南高等学校)	バドミントン	成年男子		1位	富山選抜(トナミ運輸株)
	ボート	成年男子	舵手つきフォア	6位		富山選抜	少年男子		3位
成年男子		ダブルスカル	7位	富山選抜(渡辺・内野)	弓道	成年男子	遠的	4位	富山選抜
成年女子		舵手つきクォドルプル	6位	富山選抜	ライフル射撃	少年女子	AR60WJ	7位	澤田 愛華(南砺福野高等学校)
少年女子	シングルスカル	8位	田知本遥奈(八尾高等学校)	少年		BRMixJ	7位	富山選抜(重平・安達)	
ホッケー	少年女子		2位	富山選抜(石動高等学校)	カヌー	成年男子	【スラローム】C-1(25ゲート)	6位	塚原嘉之佑(山梨大学医学部付属病院)
バスケットボール	成年男子		5位	富山選抜		成年女子	【スラローム】K-1(25ゲート)	7位	荒城 祐佳(ゼビオ株)
レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル55kg級	5位	稲岡 心空(高岡向陵高等学校)		成年女子	【スラローム】K-1(15ゲート)	8位	荒城 祐佳(ゼビオ株)
	成年男子	+109kg級スナッチ	2位	村上英士朗(いちご株)		少年女子	【スプリント】K-2(500m)	6位	富山選抜(晴被・深川)
	成年男子	+109kg級クリーン&ジャーク	1位	村上英士朗(いちご株)	少年女子	【スプリント】K-2(200m)	3位	富山選抜(晴被・深川)	
	少年男子	96kg級スナッチ	3位	宮越 雄蔵(滑川高等学校)	アーチェリー	少年男子		5位	富山選抜
	少年男子	96kg級クリーン&ジャーク	6位	宮越 雄蔵(滑川高等学校)					
	ウエイトリフティング	少年男子	102kg級スナッチ	6位	有澤 大志(滑川高等学校)				
少年男子		102kg級クリーン&ジャーク	4位	有澤 大志(滑川高等学校)					
少年男子		+102kg級クリーン&ジャーク	5位	水林 莉音(滑川高等学校)					

国民体育大会優勝者寄稿

優勝で恩返し

スキー競技 成年男子C クロスカントリー-5km 1位 藤田 紘基
南砺平高等学校教諭



第77回国民体育大会冬季大会クロスカントリー競技成年男子Cで優勝するという目標を成し遂げることができました。

コロナ感染症の影響で2年ぶりの開催となった国体でした。大会の開催決定と選手の安全を最優先にした大会運営にご尽力くださった大会役員・関係者の皆様には心より感謝しております。

会場となった花輪クロスカントリーコースは起伏に富んでいながらも国内屈指のスピードコースであるため、パワーとテクニックの両方が求められるコースです。序盤からハイペースで仕掛けつつも、中盤・後半の勝負所となる上り坂と下り坂の繰り返しでは、体力を残していかに減速を防ぐかが重要でした。当日はワックスチームが選択してくれた最適なスキーとワックスが大きな後押しとなり、序盤から快調なペースで滑走することができました。途中のチェックポイントで通過トップを更新する理想の展開でしたが、残り1km地点で、後続選手の通過タイムに僅差で負けていることが知らされました。「負けるかもしれない」という気持ちが一瞬頭をよぎり、一気に苦しい状況になりましたが、これまで積み重ねてきた時間と懸けてきたエネルギーを信じて最後まで集中して滑りました。会場に入る最後の上り坂は急こう配で苦しくて力を緩めたい気持ちに何度もなりましたが、コース内のいたるところで応援をしてくださった方々の声に伝えたいという気持ちで最後まで力を緩めることなくゴールすることができました。その結果、2位に1.1秒差で優勝を掴み取り、花輪クロスカントリーコースのコースレコードの更新もすることができました。

日頃からご支援、ご指導してくださっている富山県体育協会の皆様をはじめ、スキーと真剣に向き合う環境を与えてくれた家族、職場の皆様、チーム富山として一緒に戦ってくださった皆様、応援してくださっている県民の皆様、本当に多くの方々に支えられてこの大舞台で目標を達成することができました。富山にきて10年という節目の年に最高の結果で恩返しができることを誇りに思います。

クロスカントリースキーで得た経験を次世代につなぐことも大切にして、選手としてだけでなく、指導者としても一層精進したいと思います。

栃木国体優勝

水泳競技 少年女子B 競泳100mバタフライ 1位 中嶋 碧
南砺市立城端中学校3年

「いちご一会栃木国体2022」において競泳種目100mバタフライで優勝することができ、応援してくださった方々にこの結果を報告できて、とてもうれしく思います。

初めての国体に県の代表として出ることには、楽しみだけでなく緊張がありました。また、直前のアップでは、あまりよくないコンディションだったので不安も少しありました。予選でもターンやゴールタッチが合わず、あまりよい記録が出ませんでした。そこで予選が終わった後と決勝が始まる前に練習して、予選のミスを修正しました。また、決勝で隣を泳いだのは世界ジュニア選手権優勝選手だったので、彼女と競り合うことができれば自己ベストを更新し、勝負に勝つことができると思って頑張り、あまり緊張せず楽しんでレースに臨むことができました。そして決勝では、ミスをせずにより泳ぎができ、目標だった自己ベスト更新ができました。

100mバタフライは1日目にあったので、富山県により流れをつくれるように、自分のためではなく富山県チームのためにと最後は必死に頑張りました。ゴールした後に観客席を見て、選手やコーチたちが喜んでくれていて、自分もうれしくなりました。

来年度も優勝して富山県チームに貢献できるよう、これからも楽しんで練習に取り組んでいきたいです。サポートしてくださったコーチや家族、応援してくださった皆さん、そして一緒に頑張った選手の皆さん、本当にありがとうございました。



北京2022冬季オリンピック・パラリンピック



写真提供:読売新聞社
川除大輝選手

北京2022冬季オリンピックが2/2～2/20まで、パラリンピックが3/4～3/13まで、史上初の夏冬両季オリンピックの開催都市として開催されました。

オリンピックには、ノルディックスキークロスカントリー競技に山下陽暉選手(自衛隊体育学校(南砺平高校出))と廣瀬峻選手(早稲田大学(雄山高校出))の2名が出場しました。世界の壁の高さを痛感する結果にはなりましたが、男子40kmリレーでは、10位と健闘を見せました。4年後・8年後の表彰台を目標に掲げる2人にとっては、持てる力を十二分に発揮できたのではないのでしょうか。

パラリンピックには、ノルディックスキークロスカントリー競技に川除大輝選手(日立ソリューションズJSC(雄山高校出))と岩本美歌選手(雄山高)の2名が出場しました。特に、川除選手は男子20kmクラシカル(立位)で金メダルを獲得し、冬季パラリンピックの日本男子最年少、県勢では初の快挙を果たしました。

悔いのない挑戦と貴重な経験を積んだ4選手それぞれの、今後さらなる成長に期待していきましょう。



写真提供:読売新聞社
岩本美歌選手

オリンピック出場

クロスカントリースキー 山下 陽暉
自衛隊体育学校



小さい頃から憧れて、目標としていた第24回北京冬季オリンピックにクロスカントリースキー日本代表として出場しました。

出場にあたり、日頃からお世話になっている南砺市、富山県体育協会の皆様をはじめ、富山県民の皆様からの温かい応援の言葉、激励が本当にオリンピックの舞台上で頑張る励みになりました。心から感謝申し上げます。

私は小学校1年生からクロスカントリースキーを始め、尊敬する指導者の方々から、スキーの楽しさを教えていただきました。また、いつも完璧なスキーコースを整備してくださる平クロスカントリースキー場の方々のおかげで、スキーの魅力に取り憑かれて現在もこの大好きなスキー競技を続けています。中学校時代までは全国大会の最高成績も30位くらいと、決して強い選手ではなかったのですが、その頃から常に『全国大会で優勝する』『オリンピックに出る』と大きな目標を口にしていました。成果が表れ始めたのは、高校生からです。南砺平高校に進学し、その頃から、富山県体育協会のサポートを受けることでどんどん成績が向上し、高校2年生で初めて全国大会で優勝することができました。その事がきっかけで高校3年生からは世界ジュニア選手権に出場と、初めて世界の舞台を経験する事ができました。それから世界の舞台上で勝つために、スキーの名門である早稲田大学に進学し、4年間競技・勉強ともに、スポーツに関する様々なことを学び、現在は自衛隊体育学校でクロスカントリースキー選手として活動させていただいています。

今は富山県を離れた北海道を拠点に練習していますが、地元に戻った際にはいつも県民の皆さんのサポートのおかげで、最高の練習を最高の環境で行わせていただいています。そういったサポートがあったおかげで今の私があります。県民の皆様には感謝の気持ちしかありません。

この先2026年イタリアオリンピック、2030年には札幌がオリンピックを招致しています。僕は出場だけではなくこのオリンピックという最高峰の舞台上で金メダルを取ることを夢にしています!富山県民の皆様のお応援があれば、私はこの夢を達成できると信じています。これからも温かい応援をよろしくお願い致します。

夢

クロスカントリースキー 廣瀬 峻
早稲田大学



第24回オリンピック冬季競技会北京大会に出場させていただきました。北京オリンピック出場の際には、富山県体育協会様をはじめ富山県の皆様からたくさんの温かい応援をいただきました。まずはこの場をお借りして心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

「オリンピック出場」その言葉だけ聞くと、私の競技人生は成功と栄誉に満ちた素晴らしいものを感じる方も多いのではないのでしょうか。しかしながら、私の競技人生は失敗と挫折を繰り返してきた泥臭いものでした。たくさんの敗北を経験し、自分の成長とともに高くなる壁に何度もぶつかってきたことで長い道のりに疲れ、いつしか自分の夢を見失ってしまったことも少なくありません。しかし、家族やコーチをはじめ、多くの方々に支えられながら自身の失敗と挫折に向き合い、歪んで様々な形をした壁を何度も乗り越えてきました。そんな多くの支えがあったからこそ、今の自分がいると心から思います。

14年前、ここ富山県でクロスカントリースキー競技に出会い、そこからただただがむしゃらに「オリンピックでメダルを獲得する」という夢を追い続けていました。その間に数え切れないほどの嬉しい思いや辛い思い、そして素敵な出会いをたくさん経験してきました。その過程でクロスカントリースキーとともに人として大きく成長し、オリンピックという夢の舞台上に立つことができました。

しかし、私の夢はまだまだ途中です。これからも、富山県人としての誇りを胸に、感謝の気持ちを忘れず4年後のイタリア大会に向けて日々精進していきたいと思っています。今後とも、変わらぬご声援を賜りますようお願いいたします。本当にありがとうございました。

富山県民スポーツ応援団 トップアスリート支援事業助成対象者

富山県出身のトップアスリート
を支援しています。

令和4年度実績

サッカー

寶田 沙織★⑥
所属:リンシェーピングFC
(スウェーデン)

ホッケー

加藤 凌聖★④
所属:(公財)栃木県スポーツ協会
河邊 皓星
所属:中日コプロ(株)

ハンドボール

佐々木春乃★①
所属:ボルシア・ドルトムント(ドイツ)
北原 佑美
笠井千香子
所属:ソニーセミコンダクタ
マニファクチャリング(株)
犀藤 菜穂
所属:(株)北國フィナンシャル
ホールディングス
兼子 樹
大松澤彩夏
所属:(株)プレスステージ・
インターナショナル

バドミントン

保木 卓朗 常山 幹太
小林 優吾 大堀 彩
所属:トナミ運輸(株)

ウエイトリフティング

村上英士朗
所属:いちご(株)
中嶋 友菜
所属:東京国際大学

水泳(競泳)

竹田 涉瑚
所属:(株)オーエンス

カヌー(スプリント)

浦田 樹里★⑥
所属:早稲田大学

フェンシング

永井 杏奈
所属:中京大学

水泳(水球)

稲場 悠介
所属:新潟産業大学
(一社)ウォーターポロクラブ柏崎
稲場 朱里
所属:(株)電算システム
秀明大学水球クラブ

スケート(ショートトラック)

菊池 萌水
所属:KHネオケム(株)

スケートボード(ストリート)

中山 楓奈
所属:龍谷富山高等学校
(株)ムラサキスポーツ

世界の舞台で活躍が期待されるジュニアアスリート!!

水泳(競泳)

中嶋 碧
所属:城端中学校
大西 琴葉
所属:城端中学校
鎌田望琥人★⑬
所属:高岡商業高等学校

スキー(アルペン)

堺 麻里杏★⑭
所属:富大附属中学校

バドミントン

大田 隼也★⑪
所属:高岡第一高等学校

スキー(モーグル)

元野 響
所属:富山第一高等学校

ハンドボール

中沖仁希太
所属:高岡向陵高等学校

水泳(水球)

米田 竜将
所属:富山北部高等学校

スキー(スノーボード)

鍛治 茉音
所属:高朋高等学校

レスリング

稲岡 心空
所属:高岡向陵高等学校

ホッケー

飛驒 柊汰
丸山 にこ★⑪ 遠藤 優衣
早助 咲那★⑪ 高橋 由衣
松井 杏★⑫ 吉田 伶★⑫
所属:石動高等学校

ボクシング

利根川十仁
所属:高岡第一高等学校

★未来のアスリート発掘事業修了生
(○内数字は修了期)



富山から世界へ

～未来のアスリート発掘事業から世界へ～



★11期生 栃木国体に出場して

ホッケー 丸山 にご
富山県立石動高等学校3年

私は未来のアスリート発掘事業で、今の自分に必要なことを学ぶことができました。その中で特に印象に残っている事業は、メンタルトレーニングです。このトレーニングでは、緊張のほぐし方やプラス思考の大切さなどを学ぶことができました。私は10月に開催された栃木国体で準優勝という結果を残すことができ、この結果は未来のアスリートで学んだメンタルトレーニングが繋がっていると実感しています。決勝戦までの道のりは決して簡単なものではなく、試合中に心が折れそうになったことも沢山ありました。しかし、この未来のアスリート発掘事業で強いメンタルを身につけることができたため、先制点を取られても負ける気はしませんでした。準々決勝では、残り5秒で同点に追いつき、SO戦で勝利し、最後まで諦めないことの大切さを強く実感することができた大会でもありました。メンタルトレーニングだけでなく、未来のアスリートで学んだ栄養講座も私の力となっています。試合前後の食事や補食の取り方など自分自身で考えることができるようになり、以前より良いパフォーマンスを発揮できるようになったと実感しています。私はこの準優勝という結果には満足していません。これからもこの悔しさをバネに、未来のアスリートで学んだことを生かし、沢山のの人に勇気をあたえられるような選手になれるように頑張ります。



★11期生 常に平常心で!

ホッケー 早助 咲那
富山県立石動高等学校3年

私は、これまで、全スポや全中などの全国大会に参加してきましたが、なかなか優勝に届かず、悔しい思いをしてきました。昨年、地元富山県で開催されたインターハイにおいて、やっと優勝することができましたが、天候不良に伴う競技日程の変更により、常に全国トップの成績を残している岐阜県立岐阜各務野高校と優勝を分けあうものでした。高校生最後の年は、3冠制覇を目標に練習に励んできましたが、1冠目となるインターハイは、優勝した福井県立丹生高校に地区予選で敗退し、参加もできませんでした。2冠目となる国体は、その丹生高校に北信越国体で勝たないと参加できません。試合は同点で終了し、SO戦に勝負は持ち込まれ、最終選手である私がゴールを決めれば本国体出場決定という場面が巡ってきました。私は、未来のアスリート発掘事業で、自分の力を発揮するためには、常に平常心でプレーすることの重要性を教わってきました。これまでも、筋弛緩法や呼吸法を実践し力まず緊張を和らげプレーすることを心掛けています。この場面でも、呼吸を整え、平常心でプレーすることができ、本国体出場を勝ち取ることができました。本国体決勝では、岐阜各務野高校単独で構成される岐阜県に最終盤で1点を決められ、準優勝に終わりました。なかなか点が決まらず、焦りから平常心でのプレーができず、普段の力が発揮できなかったのが悔やまれます。今後も、この事業で学んだことを実践し、常に持てる力を発揮し、国際大会でも活躍できる選手になれるように頑張っていきます。



★12期生 日本一になるために

相撲 最上 想生
高岡向陵高等学校2年

私は小学1年生の時に父の勧めから相撲をはじめ、中学2年生の時に軽量級で日本一になれたのですが、高校の舞台でも日本一を獲りたいと思い高岡向陵高等学校に進学しました。この未来のアスリート発掘事業では、身体の使い方などが学べる身体能力育成プログラムやメンタル、スポーツ栄養などの知的能力育成プログラムなどがあり、多くの発見や学びがありました。また、県内の色々な競技のアスリートが集まっており、互いに切磋琢磨できたくさんの刺激を受けました。高校では日本一という目標をもって毎日稽古に励んでいるのですが、あまりうまく結果が出ず、大事な場面で緊張して普段できていたことができなくなることがありました。ですが、ここで学んだ試合までのコンディションの作り方や気持ちの高め方などを一度見直していくと少しずつ自分の力を出せるようになり、学んだことの重要性を実感しました。この未来のアスリート発掘事業で学んだアスリートにとって必要なトレーニングや考え方、習慣などが身につく、今では自分の生活に欠かせないものになっています。今回、インターハイ3位という結果を残せたのですが、この結果に満足せず悔しい思いを力に、目標の日本一、そして世界大会でも優勝できるよう、いつもお世話になっている方々や家族への感謝の気持ちを持ち続け、たくさんの人に応援される選手になれるよう努力を重ねていきます。

未来のアスリート発掘事業

平成17年度からスタートした「未来のアスリート発掘事業」は、スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら“将来のスポーツ界を担う人材”の育成、“全国、世界の檜舞台で活躍できる選手”の育成をサポートしていくものです。県内の小学5年生全員を対象に公募するとともに、競技団体からの推薦者と合わせて書類選考・運動能力測定会等を経て選出された約70名が、発達段階に応じた育成プログラムを小学校卒業まで受講します。

毎月1回、著名な講師を招いて実施する育成プログラムは、知的能力育成プログラムと身体能力育成プログラムの2本柱で構成されており、児童のみならず、保護者も熱心に受講されています。現在1期生から17期生まで1,099名が指定され、それぞれの年代で国際大会や全国大会等に出場し優秀な成績を収めるなど、着実に成果があがっています。

17期生は新たに、コミュニケーション能力を高めるためのプロジェクトアドベンチャー（仲間との課題解決プログラム）の導入や、「運動」「栄養」「休養」のサイクルの体験や、保護者と離れて団体生活をする環境で、生活面や精神面での自立を促す合宿を行いました。

令和5年度からは、競技団体から推薦のあった県内の小学4年生を対象にジュニアアスリート指定者を選考し、18期生と一緒に活動する取り組みを始めます。

測定会(2次選考会)

感染症対策を講じた上で、「全身反応」や「立ち幅跳び」「捕捉ゲーム」など7種目を実施しました。



測定会

メンタルトレーニング講座

心理的な働きを高め、試合で実力を発揮できる方法を学びます。



スポーツ栄養講座

トップアスリートになるために必要な食生活のあり方を学びます。



知的能力育成プログラム

スポーツ障害講座

スポーツ中のケガの予防法やケガをしたときの対処法等を学びます。



コミュニケーション

コミュニケーションのきっかけを作り、アスリート同士が関わり合いながら課題を解決する方法を学びます。



身体能力育成プログラム

コーディネーショントレーニング

運動場面の変化に対応して、全身を巧みにコントロールできる能力を高めます。



コーディネーショントレーニング(投・走)

投動作や走動作における効果的な身体操作について学びます。



ファルトレクトレーニング

豊かな自然環境の中でトレーニングを行うことで様々な変化に対応する能力を高めます。



コンディショニング

自分の持っている力を発揮したり、疲労の回復を促すための体の使い方を学んだりします。



※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながらプログラムを実施しました。また、オンライン配信での講義やプログラムの効果が高められるように、講義映像の配信などを行いました。

合宿



(アスリートの感想) 合宿を通して、「運動」「栄養」「休養」の正しいサイクルをとることが大事だと分かりました。また、身の回りの整理整頓や布団の片づけなど、普段は親にやってもらっていることを自分で言い、今後も生活面、精神面での自立を図っていききたいと思います。

★アスリート・保護者の声★

- 「良い身体」「良い頭」「良い仲間」が大切だと分かりました。「良い身体」は、栄養を考え、食べることや早寝早起きをすることです。「良い頭」は、計画を立てて運動することです。「良い仲間」は、あいさつなどをして指導者や家族、応援してくれる人に感謝をすることです。これらを大事にしていきたいです。(アスリート)
- 心の感じ方について学ぶことができました。特に印象に残った言葉は、「運動の楽しさは、できないことができるようになること」「悔し涙は楽しさ」です。夢や目標に向かってどうしたら良くなるかを考えて、ノートに書き、行動に移していきたいです。(アスリート)
- 子供たちへの接し方によって、子供の考え方に大きな差が出てくるのが分かりました。子供自身が考え、自分で計画し、実施、振り返り等を行うことで結果について子供自身が納得し受け入れることができると分かり、親が過干渉にならないことも大切だと学びました。(保護者)
- ゆっくり穏やかに話すこと、笑うこと、褒めること、「ありがとう」と言うことなど、どれも「なるほど」と思い、今日から実行することにしました。悪いことを叱る(直す)よりも、良い所を褒めて伸ばすように心掛けていきたいと思っています。(保護者)

令和4年度(公財)富山県体育協会表彰

令和4年度公益財団法人富山県体育協会表彰式を令和5年1月17日、パレブラン高志会館において、渡辺守人県議会議長をお迎えして開催しました。

表彰式では、全国大会や国際大会で優秀な成績を収めた選手・チーム・指導者と、当協会や加盟団体の発展に尽力された方々61名と16団体に、新田八朗会長が表彰状と記念品を贈呈しました。

特別表彰では、第26回世界バドミントン選手権大会男子ダブルスで金メダルを獲得したトナミ運輸株の小林優吾・保木卓朗選手、カヌースプリント世界選手権カヤックペア混合500mで8位入賞した浦田樹里選手をはじめ、国際大会や全国大会で優秀な成績を収めた選手・チームを表彰し、国体表彰では、国民体育大会各競技で3位以内に入賞した方々を表彰しました。また、加盟団体の役員、県体協の理事を務められた方々には特別表彰や感謝状を、県体協副会長を永年務められた塩谷雄一氏へ特別感謝状を授与しました。最後に受賞者を代表し、県体協副会長を永年務められ特別感謝状を受賞された塩谷雄一氏から、会長へ謝辞が述べられました。



特別感謝状

富山県体育協会の役員等として、特にその功績が顕著と認められる者

氏名	推薦団体	役職年数	経歴の概要
塩谷雄一	富山県体育協会	14	副会長 H20.5～R4.6

特別表彰

(1) 富山県体育協会の理事又は加盟団体の会長、副会長、理事長（理事長を置かない団体においては、理事長にかわる専務理事等の役員）として通算10年以上在職し、その功績が顕著と認められる者
ただし、この表彰は1回限りとする

氏名	所属	氏名	所属
横山 栄	ウエイトリフティング協会	山口 正志	高岡市体育協会
田中 幸治	ウエイトリフティング協会	東海 慎一	氷見市体育協会
橋川 謙三	柔道連盟	横嶋 信生	富山県体育協会
竹島 正隆	ソフトボール協会・富山県体育協会	石澤 宣子	富山県体育協会
塩谷 雄一	高岡市体育協会	北東 俊夫	富山県体育協会

(2) 日本選手権、全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会に出場し優勝したチーム又は選手及び指導者
ただし、指導者の推薦については、指導歴1年以上・1回限り
全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会で行われない競技種目及びこれらに準ずる大会で最高学年が出場できる大会についても同様（表彰対象期間 令和3年10月21日～令和4年10月20日）

チーム名・氏名(所属)	競技名	対象大会成績
廣瀬 峻 (早稲田大学)	スキー	第100回 全日本スキー選手権大会 ノルディック種目距離競技 マススタート10km クラシカル
元野 響 (富山第一高等学校)	スキー	JOCジュニアオリンピックカップ2022 全日本ジュニアスキー選手権大会 フリースタイル競技 モーグル種目 高校の部
中嶋 碧 (城端中学校)	水泳	令和4年度全国中学校体育大会 第62回全国中学校水泳競技大会 400m個人メドレー・200m個人メドレー
城端中学校 水泳部	水泳	令和4年度全国中学校体育大会 第62回全国中学校水泳競技大会 女子総合
富山国際大学 ボート部 橋口 拓未 倉内 洋輝	ボート	第100回全日本選手権大会 男子ペア
高岡第一高等学校 バドミントン部 大田 隼也 佐々木大樹	バドミントン	令和4年度全国高等学校総合体育大会 第73回全国高等学校バドミントン選手権大会 男子個人対抗ダブルス
中田 真琴 (高岡第一高等学校)	バドミントン	高岡第一高等学校 バドミントン部 指導者
石動中学校 女子ホッケー部 三村 乃愛 丸山 はな 遠藤 羽菜 青木 夢音 山田 心優 奥田 愛結 有澤 樹里 池田 莉子 池田 優花 南 陽菜乃 藤岡 瑠奈 八十島栄奈	ホッケー	第52回全日本中学生ホッケー選手権大会
丸山 英彦 (石動中学校)	ホッケー	石動中学校 女子ホッケー部 指導者
眞田 明花李 (興南中学校)	ウェイトリフティング	令和3年度 第20回全国女子中学生 ウエイトリフティング競技選手権大会 76kg級
嶋倉 雅 (射北中学校)	セーリング	第20回全国中学校ヨット選手権大会 ミニホッパー級 女子の部
杉浦 舞 (射北中学校)	セーリング	第20回全国中学校ヨット選手権大会 シーホッパー級SR 女子の部
射北中学校 ヨット部	セーリング	第20回全国中学校ヨット選手権大会 学校対抗団体の部

- (3) オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ、ユニバーシアード大会、アジア競技大会、ユースオリンピック競技大会、ジュニア世界選手権大会に出場し、優秀な成績を収めた選手
(表彰対象期間 令和3年10月21日～令和4年10月20日)

氏名 (所属)		競技名	対象大会成績	
小林 優吾	(トナミ運輸(株))	バドミントン	第26回世界バドミントン選手権大会 男子ダブルス	1位
保木 卓朗	(トナミ運輸(株))			
浦田 樹里	(早稲田大学)	カヌー	カヌースプリント 世界選手権 K2 mix (カヤックペア混合) 500m	8位

- (4) 国民体育大会の監督及び選手として通算10回以上出場した者
該当者なし

✪国体表彰✪

- (1) 第77回国民体育大会に出場し、3位以内に入賞したチーム又は選手

氏名 (所属)		種別・種目		順位
藤田 紘基	(南砺平高等学校)	スキー	冬季大会 成年男子C クロスカンントリー 5kmクラシカル	1位
中嶋 碧	(城端中学校)	水泳	本大会 少年女子B 100mバタフライ 200m個人メドレー	1位 2位
村上 英士朗	(いちご(株))	ウエイト リフティング	本大会 成年男子 +109kg級 クリーン&ジャーク スナッチ	1位 2位
バドミントン競技 成年男子 トナミ運輸(株) 金子 真大 秦野 陸 大林 拓真		バドミントン	本大会 成年男子	1位
高橋 業那	(ダイチ(株))	スケート	冬季大会 成年女子 スピードスケート 1500m 3000m	2位 3位
廣瀬 悠	(早稲田大学)	スキー	冬季大会 成年女子A クロスカンントリー 5kmクラシカル	2位
スキー競技 成年男子富山選抜 宇田 彬人 山崎 大翔 竹原 義之 清水 康平		スキー	冬季大会 成年男子 クロスカンントリーリレー	2位
鎌田 望琥人	(高岡商業高等学校)	水泳	本大会 少年男子B 100m平泳ぎ	2位
ホッケー競技 少年女子 石動高等学校 女子ホッケー部 田屋 結菜 小谷内葵子 加藤 心寧 市森 心彩 西田 琴音 松井 杏 吉田 伶 遠藤 優衣 伊掛 花奈 丸山 くに 澤田 朱莉 高橋 由衣 早助 咲那		ホッケー	本大会 少年女子	2位
自転車競技 女子 チームスプリント 富山選抜 石中 葵 下条 未悠		自転車	本大会 女子 チームスプリント	2位
相撲競技 少年男子 高岡向陵高等学校 相撲部 山岸 力 最上 想生 五十嵐 翔 岩本 修和 平河 ジェイキ		相撲	本大会 少年男子 団体	2位
水口 雄太	(南砺市役所)	スキー	冬季大会 成年男子C ジャイアントスラローム	3位
宮越 雄蔵	(滑川高等学校)	ウエイト リフティング	本大会 少年男子 96kg級 スナッチ	3位
バドミントン競技 少年男子 高岡第一高等学校 バドミントン部 大田 隼也 松久 知弘 野村 光河		バドミントン	本大会 少年男子	3位
カヌー競技 少年女子富山選抜 深川 満那 (富山北部高等学校) 晴枝 葵 (魚津高等学校)		カヌー	本大会 少年女子 カヌースプリント カヤックペア 200m	3位

(2) 国体において、競技別総合8位までに入賞した競技団体

団体名	成績	団体名	成績
相撲連盟	2位	スキー連盟	5位
バドミントン協会	2位	ホッケー協会	6位

(3) 国体の成年の部に通算5回以上（異種目も可）出場した選手
ただし、大学在学中の出場は除くこととし、この表彰は1回限りとする

氏名	所属	氏名	所属
海老泰博	柔道連盟	高田拓	剣道連盟



❀感謝状❀

(1) 加盟団体の発展に尽力し、役員として通算10年以上在職し、特にその功績が顕著と認められる者（1回限り）

氏名	推薦団体	氏名	推薦団体
道淵義久	水泳連盟	三箇康正	柔道連盟
大橋司	水泳連盟	西川貴志子	柔道連盟
筒井勝志	テニス協会	高岡稔	柔道連盟
堀嘉彰	バレーボール協会	奥田幸一	柔道連盟
稻川峰士	体操協会	竹幹雄	ソフトボール協会
高坂至	体操協会	山元清浩	ソフトボール協会
伊東貴志	体操協会	青木実	ソフトボール協会
河村浩志	ソフトテニス連盟	林貴也	銃剣道連盟
稲谷均	軟式野球連盟	荒井英里	ダンススポーツ連盟
山崎正男	軟式野球連盟	金山誠一	ダンススポーツ連盟
大浦常雄	相撲連盟	杉澤弘司	小矢部市体育協会
有山秀志	相撲連盟	落合正利	立山町スポーツ協会
鈴木健一	相撲連盟	舟橋晶	立山町スポーツ協会
犀藤和憲	相撲連盟	飯作幹子	入善町体育協会
西村弘樹	フェンシング協会		

(2) 富山県体育協会の理事を通算5年以上10年未満で退き、その功績が顕著と認められる者
該当者なし

第32回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

本年は、6月11日(土)から9月18日(日)までを会期とし、富山県総合体育センターほか9会場において、令和4年度富山県スポーツフェスタ第32回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会が開催されました。

県内各地から、2,489名の団員・指導者が集い、声援と拍手の中、軟式野球競技など12競技が行われ交流を深めました。各競技の様子や成績を紹介いたします。



***** 優勝一覧 *****

★サッカー競技 6月18日(土)・19日(日)
FC.CAMPIONE福岡サッカー(高岡市)

★バレーボール競技 9月18日(日)・25日(月)
男子 新庄北(富山市)
女子 堀川(富山市)

★ミニバスケットボール競技 7月9日(土)・10日(日)
男子 奥田ミニバスケットボール(富山市)
女子 上市ミラクルズバスケットボールクラブ(上市町)

★卓球競技 6月25日(土)
小学4年男女の部
坂東 律(桐山卓球 入善町)
小学5・6年男子の部
上 矜斗(STEP氷見 氷見市)
小学5・6年女子の部
石原 悠希(STEP氷見 氷見市)
中学男子の部
尾崎 永和(UOZU SUPOLA. JTC 魚津市)
中学女子の部
柴田 麗緒(黒部卓球 黒部市)

★軟式野球競技 6月11日(土)・12日(日)・18日(日)
下関キングス(高岡市)

★柔道競技 6月26日(日)
団体 富山市
小学3年-30kgの部
中岡 裕貴(あわら柔道 高岡市)
小学3年+30kgの部
中田 桜介(共栄塾柔道場 富山市)
小学4年-35kgの部
鷹取 芭織(水橋錬成館 富山市)
小学4年+35kgの部
森 龍我(柔心会 射水市)
小学5年-40kgの部
高田 友輔(県営富山武道館 富山市)
小学5年+40kgの部
中条 めい(柔心会 射水市)
小学6年-45kgの部
洪 路我(県営富山武道館 富山市)
小学6年+45kgの部
荒谷 優斗(あわら柔道 高岡市)

★ソフトボール競技 6月18日(土)
魚津アップルジュニアソフトボール(魚津市)

★バドミントン競技 6月25日(土)
小学4年男子の部
古川 瑛士・竹田 悠登(魚津ジュニア 魚津市)
小学4年女子の部
芝田 英吏・谷 心維(富山和合 富山市)
小学5年男子の部
今井 幸史・丹羽 鉄平(砺波南部 砺波市)
小学5年女子の部
柴田 優来・柴田 聖椰(堀川南 富山市)
小学6年男子の部
安田 翔・稲月 頼樹(富山和合 富山市)
小学6年女子の部
芝田 沙来・谷 心絢(富山和合 富山市)

★剣道競技 7月2日(土)
団体 富山市
小学4年男女の部
長森 和貴(凌雲館 富山市)
小学5・6年男子の部
山本 煌来(凌雲館 富山市)
小学5・6年女子の部
永井 陽縁(凌雲館 富山市)
中学男子の部
作農 智史(富山武道館 富山市)
中学女子の部
植山 歩(富山武道館 富山市)

★ソフトテニス競技 7月2日(土)
男子 庄川ソフトテニス(砺波市)
女子 城端ソフトテニス(南砺市)

★ホッケー競技 7月10日(日)
男子 REDOX大谷(小矢部市)
女子 REDOX石動(小矢部市)

★空手道競技 6月12日(日)
形男女 黒部正拳(黒部市)
組手男子 黒部正拳(黒部市)
組手女子 黒部正拳(黒部市)



競技別交流大会優勝チーム紹介〈軟式野球・サッカー〉

〈富山県:軟式野球〉

下関キングス

主将 米村 健吾

僕たちのチームは、「笑顔!絶対勝つ!必ずできる!自信がある!」を合言葉に仲間との絆を大切に日々練習に取り組んでいます。

今年は高岡市予選を「優勝」で乗り切り、県大会に出場することができました。

一回戦はサヨナラ勝ち、二回戦は初回に先制しましたが追いつかれ、チーム初の抽選となりました。運も味方し、なんとか準決勝へ進むことができました。準決勝は三塁打からの流れで四点を先取り、最終回にも一点を追加し、北信越大会への切符を手に入れました。

決勝戦は、高岡市予選でも決勝で対戦した「高岡西部球団」が相手でした。準決勝後の対戦であったため、両チームともエースが投げられず、打撃戦となりました。僕たちは何とか最終回の裏に追いつき、二度目の抽選となりました。一戦必勝で優勝目指してチーム一丸となり戦い抜いた結果、運も味方し、県大会でも優勝旗を手に入れることができました。どの試合も大変な試合ばかりで、先取点を取られて追いつくなど、この大会を通してチームも成長したように思います。

コロナ禍の中、大会を開催してくださり、本当にありがとうございました。



〈北信越:軟式野球〉

高岡西部球団

主将 山崎 智哉

僕たちの目標は、「目の前の一試合を大切に全国大会で優勝すること」。

北信越大会では、一試合目の逆転勝ち、決勝戦のサヨナラ勝ちと、すごいドラマがありました。僕たちは声をかけ合い、チームを盛りあげ、それぞれの持ち味をいかして、打線をつなぎ、走塁をからめて、点数を取り、チャレンジする気持ちでせめ、最後まで諦めず、チームの絆で全員野球をすることができ、優勝することができました。

試合に出ている選手だけではなく、ベンチメンバーも自分の役割をして、全力でサポートしてくれました。応援してくれたお父さんお母さん達の声と熱い想いにこたえたい気持ちといつも感謝をプレーで伝えたいという思いで、最後まで頑張ることができました。

ここにくるまで、何試合もあと一歩のところまで勝つことができず、悔し涙をながした経験があったからこそ、大事な試合で勝つことができましたと思います。

そして、全国大会の一回戦。最初は緊張しましたが、声をかけ合い、最後まで諦めずプレーしましたが負けてしまい、すごく悔しかったです。奈良県のチームと交流試合や野球教室などもありました。とても良い経験になったし、夏休みの思い出になりました。

僕はこの経験を通して、野球がもっと好きになりました。このような機会をつくってくださった皆さんに感謝の気持ちを忘れず、残りの試合も全力で頑張りたいと思います。



〈富山県:サッカー〉

FC.CAMPIONE福岡サッカー

監督 山元 信一

まず初めに、未だ全国的にコロナ感染拡大の収束の目処が経たない状況の中、今大会の開催にあたりご尽力を賜りました大会関係者の皆様方には大変感謝申し上げます。

さて、FCカンピオーネ福岡は前身の旧福岡町サッカースポーツ少年団の創立から今年で40周年を迎えました。この記念すべき年に、「富山県スポーツ少年団交流大会」において優勝をさせていただき選手含めスタッフ一同大変嬉しく思います。大会当日は6月とは思えないほどの猛暑日となりましたが、選手たちは日頃の練習の成果を十分に発揮してくれました。予選初日、怪我などでレギュラーメンバーを数名欠く状況の中で、サブメンバーがしっかりと結果を残してくれました。2日目の決勝トーナメントでは、準決、決勝と前回の対戦で敗戦している相手との試合。持ち前の粘り強い守備から得意の形でしっかりと得点を重ね勝利を掴み取ってくれました。現在のトップチームには6年生9名、5年生6名の計15名で所属しております。次は秋の全日本少年サッカー富山県大会予選までさらにレベルアップをし、悲願の全国大会出場目指して、日々の練習に励みたいと思います。最後になりますが、今回対戦をしていただいたチーム関係者様、選手の皆さんありがとうございました。



スポーツ少年団紹介

上市町スポーツ少年団

上市町のスポーツ少年団は、昭和41年10月に上市町大永田地区にて「スポーツを通じて健全な青少年を育成する」ことを目的に、軟式野球・バドミントン・卓球競技を中心とし、団員27名で発足したことが始まりとなります。その後、平成2年4月には、「各単位団が相互に調整や協力し合い、交流を深める」ことを目的として、町内地区ごとのスポーツ少年団が一つにまとまり、現在の上市町スポーツ少年団が結成されました。近年の少子化の影響を受けながらも、現在、軟式野球・バドミントン・空手競技など12単位団8競技から構成しており、団員数191名、指導者数35名、スタッフ10名が在籍しています。活動場所としては、学校施設にとどまらず、町内の社会体育施設等を利用することにより、多くの団員が勢力的に競技に取り組めるような環境が整っています。

当スポーツ少年団は、平成28年に富山県体育功労者表彰のスポーツ部門功労表彰に選出され、令和2年には、生涯スポーツ優良団体(社会体育優良団体)として、文部科学大臣表彰を受賞しました。

各単位団においては、剣道スポーツ少年団(平成9年)、ジュニアバドミントンスクールスポーツ少年団(平成12年)が優良体育スポーツ団体として、富山県体育功労者表彰の教育功労者等表彰を受賞しました。また、ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団(平成14年)、ジュニアバドミントンスクールスポーツ少年団(平成18年)、バドミントンスクールスポーツ少年団(平成20年)、サッカースポーツ少年団(平成30年)が、とやまジュニアスポーツ大賞の優秀活動賞に選出されました。

当スポーツ少年団の代表的な活動としては、丸山総合公園で毎年2月に行われるスポーツ少年団交流会があります。全単位団の中から、約20チームを編成し、大縄跳び・リレー・綱引きを行い、総合順位を決定します。日頃あまり触れ合うことのない他競技の団員と目標に向かって協力し合うことによって、チームワークやリーダーシップを学ぶ機会になっています。

今後、団員がスポーツだけでなく様々な活動を通じて喜びや楽しさを体験し、協調性や創造性を養い、思いやりの心や感謝の気持ちを忘れないことを願い、子供たちの健全育成とスポーツ少年団の更なる活性化を目指し、活動していきます。



第75回 富山県民体育大会

第75回富山県民体育大会は、7月23日、24日を中心会期に、県内10市4町を主会場にして行われました。この県民体育大会は、一部：競技スポーツの部（チャンピオン部門）、二部：県民スポーツの部（地域対抗部門）、三部：健康と体力づくりの部（交流部門）の三部からなり、冬・夏合わせて45競技に選手・監督合わせて21,607名が参加しました。



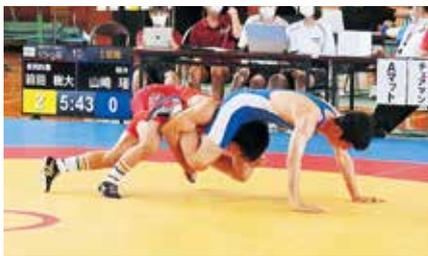
陸上競技



水泳



バスケットボール



レスリング



セーリング



自転車



軟式野球



卓球



アーチェリー



空手道



ゴルフ



ゲートボール

7月25日(月)に富山県総合体育センターにおいて閉会式が行われました。閉会式には、12郡市の体育協会関係者約30名が集まり、冬・夏に繰り広げられた二部について成績発表の後、一般の部、中学の部の各部門において1～3位の郡市をそれぞれ表彰しました。第75回大会は、一般の部、中学の部ともに富山市が優勝、2位は高岡市。一般の部の3位は氷見市、中学の部の3位は南砺市でした。また、躍進賞の一般の部は、氷見市、砺波市、魚津市、中学の部は射水市、黒部市がそれぞれ受賞されました。

◇ 上位成績一覧 ◇

一般の部		中学の部	
1位	富山市 (27年連続68回目)	1位	富山市 (41年連続47回目)
2位	高岡市	2位	高岡市
3位	氷見市	3位	南砺市

◇ 躍進賞 ◇

一般の部	中学の部
氷見市	射水市
砺波市	黒部市
魚津市	



令和4年度富山県スポーツフェスタ とやまスポレク交流大会2022

県民の元気を創造するため、県内総合型地域スポーツクラブが主体となって県内4地区で、県民誰もが気軽に参加できるスポーツイベントを開催し、計1,540名の参加者が楽しく様々なスポーツに親しまいました。

8月27日(土) 富山地区

会場：富山市総曲輪グランドプラザ（富山市）

富山地区の総合型地域スポーツクラブが、子どもから高齢者まで誰でも楽しめるニュースポーツ体験会を開催しました。家族そろってご参加いただきました。

ニュースポーツ体験会(チアリーディング、スラックライン、太極拳、トランポリン、ストラックアウト、モルック等)を実施



9月23日(金・祝) 高岡地区

会場：下村パークゴルフ場（射水市）

緑豊かな水郷の里で、初めての親子も経験者もパークゴルフを楽しみながら交流を深めました。

パークゴルフ交流会、親子パークゴルフ体験会を実施



10月2日(日) 砺波地区

会場：クロスランドおやべ（小矢部市）

芝生の交流広場を拠点に、散歩したり青空の下でヨガを楽しんだり気軽に楽しく体を動かしました。

ぶらり散歩、青空ヨガ、キッズヨガ、ニュースポーツ体験(モルック、スラックライン、ユニホック等)を実施



11月23日(水・祝) 新川地区

会場：ありそドーム（魚津市）

広大なありそドームアリーナに、多種多様なスポーツブースを準備しスポーツ秋まつりを開催しました。

ニュースポーツ体験会(スポーツチャンバラ、ユニホック、トランポリン、スラックライン等)を実施



本事業は、独立行政法人日本スポーツ振興センター
スポーツ振興くじの助成を受けて開催しました。

令和4年度地域スポーツ指導者研修会

令和4年6月4日(土) 富山県総合体育センター

一般・シニアへのスポーツプログラム

ロコモ予防のための機能改善体操 (ボディキネシス®)

綿谷 千鶴 氏

(NPO法人いきいき・のびのび健康づくり協会 理事)

機能改善体操の考え方、ロコモティブシンドロームの概要の講義を受けた後、機能改善体操(ボディキネシス®)の実践を体験しました。

本研修会は、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者」資格更新研修、「健康・体力づくり事業財団」更新資格認定と兼ねて受講することが可能なものです。



未就学児・小学生へのスポーツプログラム

日本中の子ども達を元気にしよう! ～遊びから始めるカラダづくり運動～

加藤 真由美 氏

(一般社団法人日本こどもフィットネス協会 教育ディレクター)

手遊び、歌遊び、からだ遊び、からだづくりフィットネス&ダンス、親子ふれあいフィットネス、パラシュートアクティビティなどを体験しました。



令和4年度公益財団法人日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー養成講習会(専門科目)

総合型地域スポーツクラブの運営に必要なクラブマネジメントの基礎的知識を学び、クラブ運営に携わる人材を養成することを目的とした、令和4年度公益財団法人日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー養成講習会(専門科目)が、9月3日(土)・4日(日)に14名の参加を得て、富山県総合体育センターにて開催されました。

4名の講師による「地域スポーツクラブとは」、「クラブのつくり方、運営」、「地域スポーツクラブの現状」、「クラブマネジャーの役割」の講義後、検定試験を行いました。



富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会は、「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を体現する取組を行うことを通じて、スポーツが果たすべき使命の達成に貢献することにより、総合型クラブが公益性の高い持続可能な「社会的な仕組み」として地域社会に定着することを目指す県内の総合型クラブを代表する組織体です。

富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会クラブ一覧(登録24クラブ、準登録3クラブ)

NO.	地区	市町村	クラブ名
1	富山	富山市	NPO 法人 ひがしスポーツクラブ
2			NPO 法人 富山スイミングクラブ
3			(一社) パレススポーツクラブ
4			くれば総合型スポーツクラブ
5			(一社) 水橋フットボールクラブ
6			NPO 法人 ふちゅうスポーツクラブ
7	高岡	高岡市	(一社) 高岡スポーツユナイテッド
8			NPO 法人 遊・Uクラブ
9		射水市	NPO 法人 新湊カモンスポーツクラブ
10			NPO 法人 こすぎ総合スポーツクラブ
11			きらり
12			NPO 法人 しもむらスポーツクラブ
13			まいけ
	氷見市	ふれんず	

NO.	地区	市町村	クラブ名	
14	砺波	砺波市	NPO 法人 SEIBU スポーツクラブ	
15			となみスポーツクラブ トライズ	
16		小矢部市	NPO 法人 おやべスポーツクラブ	
17	南砺市	南砺市	NPO 法人 クラブ Joy	
18			NPO 法人 アイウェア	
19			NPO 法人 ふくのスポーツクラブ	
20	新川	魚津市	NPO 法人 福光スポーツクラブ	
21			うおづスポラ	
22			(公財) 黒部市体育協会 KUROBE	
23			スポーツファミリー	
24			舟橋村	NPO 法人 KUスポーツクラブWILL
25				舟橋文化スポーツクラブ パンドリー
26			上市町	(一社) 常願寺川公園スポーツクラブ
27	朝日町	上市町総合スポーツクラブ さんさん		
		ひすいスポーツクラブ		

総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度(R4.4.1から運用)、総合型地域スポーツクラブ(以下総合型クラブ)が地方自治体等とパートナーシップを構築し、公益的な事業体としての役割を果たしていくことを目的に、総合型クラブ全国協議会が定める活動実態や運営実態、ガバナンス等についての登録基準を具備していると認められる総合型クラブを「登録クラブ」として、まず今年度は令和4年11月1日から令和6年3月31日まで認定されました。

登録クラブとして認定されることにより、行政における総合型クラブの認知度が向上し、行政から地域住民へ総合型クラブを広報することにつながることへの期待や、地域住民にとっては総合型クラブが見つけやすくなることといった、総合型クラブに対する安心感の醸成等が期待されます。

★ 総合型地域スポーツクラブ紹介 ★

NPO法人SEIBUスポーツクラブ



次の10年に向けて

会長 神 泰晴

NPO法人SEIBUスポーツクラブは、お陰様で令和4年6月をもって設立20周年を迎えることになりました。これまで、ご支援いただいた皆様、また会員の皆様には深く感謝申し上げます。

総合型地域スポーツクラブは、文部科学省のスポーツと健康に関する施策として、幅広い世代の人が、各自の興味関心や競技レベルに合わせて、様々なスポーツに触れる機会を提供することを目指して設立されてきたものです。当クラブは、その先駆けの一つとして平成14年に設立されました。

富山県西部体育センターのスポーツ教室中心のメニューでのスタートでしたが、この20年間で、多数の教室の開講や短期セミナー、講習会、各種スポーツ事業の開催等を通して、活動の充実に努めてまいりました。また、平成19年のNPO法人の認定を通して組織のガバナンスを強化し、クラブの目指す方向や責任を明確にして運営してきたことが、砺波市温水プールの指定管理業務の受託につながりました。これがクラブの新たな一歩となり、設立初年度には約600名であった会員数が2,000名を超えるなど、着実に歩みを進めることができました。

その一方で、近年の少子化の影響が、クラブ会員数が減少に転じたり、中学校や高等学校が合同チームで大会に参加したりすることに表れています。その他、中学校部活動の地域移行や小学生の全国大会の廃止が話題になるなど、子供のスポーツ活動は、大きな転換期に差しかかったと言えます。また、長寿命化により、働く高齢者も増加していくことから、若い時から適切な運動習慣を形成し、健康な生き方を目指すことが、ますます重要になってきています。

ここ2年間はコロナ禍のため、全ての方々にとって外出が思う通りにならない、難しい時期でした。クラブからの様々なアプローチも積極的に行うことができず、指導者や運営スタッフは歯がゆい思いをしています。しかし、最近になって少しずつ感染症対策も緩和されていることは、皆様やスタッフには明るい兆しであり嬉しいことです。

今後とも、これらの様々な変化等にも対応し、地域の皆様の健康や楽しいスポーツライフを支えるクラブであり続けるため、一層の充実と発展に努めてまいります。関係の皆様には、今後ともご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和4年度富山県スポーツ指導者研修会

富山県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者のさらなる資質向上と活動促進及び、指導者の連帯感を深め組織的活用を図ることを目的とした、令和4年度富山県スポーツ指導者研修会が、12月4日(日)に204名の参加を得て、国立大学法人富山大学 五福キャンパス 黒田講堂にて開催されました。

プロラグビーコーチ、人材育成プロデューサー、コーチエデュケーターの二ノ丸友幸氏による「新しい時代に求められる自覚型人材の育成法～変わるべきは指導者である～」と「良い指導に不可欠なコミュニケーションスキル～あなたは選手から話しかけられますか?～」の講義を受けました。

本研修は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格更新のための更新研修の一つとして取り扱われます。



公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰

日本スポーツ協会では、永年にわたりスポーツ指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他、国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった指導者を表彰しており、本県から6名の方々が受賞されました。

指導者等表彰受賞者

氏名	資格
穴田 直樹	ホッケーコーチ4
新村 定香	アシスタントマネージャー ジュニアスポーツ指導員 スポーツプログラマー

氏名	資格
牧田 稔	剣道コーチ1
原 学	ウエイトリフティングコーチ3
犬島 宗男	ボウリングコーチ1
牧野 裕子	馬術コーチ3

加盟団体紹介

協会創立90周年を迎えて

富山県卓球協会
理事長 森 敏之

富山県卓球協会は令和3年度で創立90周年を迎えました。
卓球競技は小学生から高齢者まで幅広い年代の方々に普及し、中学校や高校の部活動でも多くの学校で取り組まれている種目です。

ここ数年は国際大会での日本選手の活躍が目立つようになり、東京オリンピックでの混合ダブルスの金メダル獲得をはじめ、団体・個人のメダル獲得は記憶に新しいところかと思えます。

近年の卓球競技は選手の競技開始の低年齢化が著しく、全日本卓球選手権においてもバンビの部(小学校2年生以下)のレベル向上には目を見張るものがあります。

卓球は道具を使う競技であることに加え敏捷性が重要であり、他競技に比べて筋力や体格が未熟な年齢であっても経験値が明確な優位を築くという競技性に起因するものです。

私も理事長を拝命して以来、小学生選手の強化事業に率先して取り組んできたつもりです。偶々ではありますが、2021年全日本選手権において柴田兄弟(STライトニング)がカブの部(小学校4年生以下)とバンビの部で同時優勝するという快挙もありました。将来は富山県出身選手として日の丸を付けて国際舞台で活躍する日が来ることを楽しみにしています。

富山県は以前から高齢者を中心にラージボールの競技人口も多く、全国大会で入賞する技術レベルの高い選手から、生涯スポーツとして日々楽しむ選手まで多種多様な方々が富山県卓球協会に登録されています。

今後も、皆様方のご協力を賜りながら、強化と普及の両面で発展に取り組んでまいります。



更なる高みを目指して!!

富山県自転車競技連盟
理事長 浅倉 基

自転車競技は近代オリンピック第1回の1896年から途切れることなく競技が行われており、世界選手権やツール・ド・フランスなど世界的にメジャーなスポーツです。国民体育大会においても第1回の1946年から競技が行われています。

富山県自転車競技連盟はその翌年の1947年に創立し、国体にも早期から参加しています。度々の個人優勝者、入賞者を出してきましたが、総合優勝はなかなか難しく叶いませんでした。

2000年富山国体を境に個人の競技レベルが上がり、総合優勝に近い県の一つとなりました。近年になり国体、全日本選手権、インカレ、インターハイなどのトップクラスの大会での優勝者やナショナルメンバーの輩出で国体上位総合入賞を狙える県にぐっと近づきました。そして2019年の茨城国体での種目別天皇杯では過去最高の3位獲得、2022年の栃木国体では、史上初の種目別皇后杯優勝を果たしました。来年の鹿児島国体においても更なる成績を目指して強化に努めていきたいと考えています。

しかし、これだけの成績を出していながらも連盟では、若い選手の獲得に苦労している現状です。『国体の自転車競技＝競輪場を走る』となると敷居が高く感じるライダーも多いようです。連盟は、富山県内唯一競輪場で練習を行っているクラブである『富山サイクルスポーツクラブ(<https://www.toyama-keirin.com/together>)』と相互協力をして競技者の発掘を行っています。下は小学生から上はマスターズまで走りを楽しんでいるクラブです。『サイクルスポーツを盛り上げよう』から立ち上がったクラブで、競技場での走りを楽しみながらも未来のアスリートを育てています。

また自転車競技連盟は、チャンピオンスポーツとしての自転車競技のみならずスポーツサイクルの裾野を広めるために『グランfond富山』、『富山湾岸サイクリング』にも協力しています。多くの人に交通ルールを守り、スポーツサイクルを楽しんでもらおうと活動しています。



富山県高等学校体育連盟 令和4年を振り返って

理事長 山本 一登

昨年末から今年の春休みにかけて開催された全国高校総体、全国高校選抜大会等では、弓道の女子個人で四十田知香選手(富山第一高校)、ボクシングの女子ライトフライ級で利根川十仁選手(高岡第一高校)が優勝しました。また、バドミントンの男子学校対抗で高岡第一高校、アーチェリーの男子個人で徳本拓人選手(魚津工業高校)がそれぞれ2位に入賞し、ホッケー女子で石動高校、弓道の女子団体で富山第一高校、ハンドボール女子で高岡向陵高校がそれぞれ3位に入賞するなど、9競技18種目で60名が入賞しました。

また、高校生のスポーツの祭典、令和4年度全国高校総体は、「燃え上がれ 我らの闘志 四国の大地へ」のスローガンのもと、7月23日～8月23日の日程で、四国4県と和歌山県で開催され、本県からは中村謙作県高体連会長を団長として、30競技に460名の選手が参加しました。本県選手はよく健闘し、13競技42種目でベスト8以上に入賞する好成績を収めました。バドミントンの男子ダブルスでは大田隼也選手・佐々木大樹選手(高岡第一高校)が県勢としては21年ぶりに優勝し、学校対抗でも高岡第一高校が2位に入賞しました。ボクシングのミドル級では上市高校の藤山成悟選手が2位に入賞し、水泳(競泳)の女子100mバタフライで大上詩央里選手(国際大付属高校)、相撲の個人100kg級で最上想生選手(高岡向陵高校)、ウエイトリフティングでは滑川高校が学校対抗など4種目でそれぞれ3位に入賞しました。また、公開競技ながら水泳(飛込)女子シンクロナイズド飛板飛込でも高桑沙希選手(高岡南高校)が3位入賞を果たしました。

第77回栃木国体では、相撲の少年男子で高岡向陵高校、ホッケーの少年女子で石動高校、水泳(競泳)の少年男子B100m平泳ぎで鎌田望琥人選手(高岡商業高校)がそれぞれ2位に入賞し、バドミントンの少年男子で高岡第一高校、ウエイトリフティングの少年男子96kg級スナッチで宮越雄蔵選手(滑川高校)、カヌーの少年女子スプリントK2 200mで晴枝葵選手(魚津高校)・深川満那選手(富山北部高校)がそれぞれ3位に入賞するなど冬季国体を含めて、少年の部で15競技31種別で入賞を果たしました。

また、日本代表として国際大会に出場した選手や様々な大会で競技実績を重ねる選手も多く、本県の高校生アスリートの競技力は着実に向上しているものと思われます。これらの大会の成果は、選手の日々の努力はもちろんのこと、指導者や家族、周囲の方のサポートの賜物であると共に、県体協や各競技団体、県高体連等の事業を活用するなど、「オール富山」で取り組んだ成果であると思います。

令和5年度には、本県では17年ぶりとなる「令和5年度全国高等学校総合体育大会 第73回全国高等学校スキー大会(令和6年2月7日～11日)」が南砺市と富山市で開催されます。令和3年度に本県で開催した全国高校総体に続き、本県で全国スキー総体が開催される事で高校スポーツ発展への気運が醸成され、今後の本県高校スポーツの更なる飛躍につながる事を期待しています。

終わりになりますが、日頃より高校生のスポーツ振興にご協力いただいております皆様方に感謝申し上げますとともに、今後ともより一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



全国高校総体 バドミントン 高岡第一高校



栃木国体 ホッケー少年女子 石動高校



栃木国体 ウエイトリフティング



栃木国体 水泳(競泳)

富山県中学校体育連盟 令和4年を振り返って

理事長 有澤 桂



全国中学校水泳競技大会
女子総合優勝 南砺市立城端中学校
(左:中嶋優選手、中:大西琴葉選手、右:中嶋碧選手)

令和4年は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、中学生が各競技で大活躍する年となりました。

はじめに冬季大会では、令和4年2月1日から4日にかけて全国中学校スキー大会が長野県野沢温泉村で開催されました。アルペン女子スラローム競技で堺麻里杏選手(富大附属中)が2位、清利葵乃選手(城端中)が7位、アルペン女子ジャイアントスラローム競技で上野香晴選手(井波中)が8位にそれぞれ入賞を果たし、幸先のよいスタートを切ることができました。

8月1日から6日にかけて、全国中学校体育大会の予選大会となる第43回北信越中学校総合競技大会が長野県で開催され、本県から817名が出場しました。ハンドボール競技では西條中学校男子、十三中学校女子がともに優勝を果たすなど、例年の優勝数を遙かに超える9競技31種目で優勝の栄冠に輝きました。

8月15日から25日にかけて北海道・東北ブロックで開催された全国中学校体育大会に、本県からは、昨年度を大幅に上回る14競技220名の選手が出場しました。大会では、中嶋碧選手(城端中)の水泳競技女子400m個人メドレー1位(2年連続)、同200m個人メドレー1位、城端中学校の女子総合優勝、伊東大寿選手(速星中)の男子走り高跳び2位、氷見市立十三中学校のハンドボール競技女子3位をはじめ、3競技11種目において入賞を果たしました。

また、8月に開催された全日本中学生ホッケー選手権大会では、石動中学校女子が26年ぶりに優勝、全日本中学選手権競漕大会では、楡原中学校が3位に入賞するなど、多くの選手が全国の舞台で活躍しました。

12月18日、滋賀県で開催された第30回全国中学校駅伝大会において、大沢野中学校が見事4位に入賞し、県勢過去最高成績を残すとともに、5区を力走した長森結愛選手は、区間賞とともに今大会の最優秀選手に選ばれました。

本連盟では、今後とも、県体協や関係競技団体、関係機関と連携を図るとともに、スポーツ振興並びに選手の育成支援に努めてまいりたいと思います。

終わりに、日頃から中学校の運動部活動に対してご理解とご協力をいただいております関係団体並びに指導者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



全日本中学生ホッケー選手権大会
女子優勝 小矢部市立石動中学校

全国中学校スキー大会

令和4年2月1日～4日 長野県野沢温泉村

順位	種別	種目	選手・チーム名
2位	アルペン	女子スラローム	堺 麻里杏(富大附属)
7位	アルペン	女子スラローム	清利 葵乃(城端)
8位	アルペン	女子ジャイアントスラローム	上野 香晴(井波)

全国中学校駅伝大会

令和4年12月17日～18日 滋賀県

順位	種別	種目	選手・チーム名
4位	女子		大沢野中学校
区間1位	女子5区	最優秀選手賞	長森 結愛(大沢野)

全国中学校体育大会

令和4年8月15日～25日 北海道・東北ブロック

順位	種別	種目	選手・チーム名
1位	水泳競技(競泳)	女子200m個人メドレー	中嶋 碧(城端)
1位	水泳競技(競泳)	女子400m個人メドレー	中嶋 碧(城端)
1位	水泳競技(競泳)	女子総合	城端中学校
2位	陸上競技	男子走高跳	伊東 大寿(速星)
3位	ハンドボール	女子	十三中学校
4位	水泳競技(競泳)	女子50m自由形	中嶋 優(城端)
4位	水泳競技(飛込)	男子高飛込	坂田 力毅(志貴野)
5位	水泳競技(競泳)	男子200mバタフライ	森 祐太(志貴野)
5位	ハンドボール	男子	西條中学校
5位	軟式野球	男子	氷見北部中学校
5位	剣道	女子	呉羽中学校
6位	水泳競技(競泳)	男子100mバタフライ	森 祐太(志貴野)
7位	陸上競技	男子四種競技	渡辺 佑希(福光)
8位	水泳競技(競泳)	女子100m自由形	中嶋 優(城端)

全日本中学生ホッケー選手権大会

令和4年8月19日～22日 宮城県

順位	種別	選手・チーム名
1位	女子	石動中学校
5位	女子	大谷中学校

全国中学校ヨット選手権大会

令和4年7月29日～31日 香川県

順位	種別	種目	選手・チーム名
1位	学校対抗	学校対抗団体の部	射北中学校
1位	女子	ミニホッパー級女子	嶋倉 雅(射北)
1位	女子	シーホッパー級SR女子	杉浦 舞(射北)

全日本中学選手権競漕大会

令和4年7月23日～24日 宮城県

順位	種別	種目	選手・チーム名
3位	女子	ダブルスカル	楡原中学校

公益財団法人富山県体育協会役員等名簿

(R4.7.1現在)

役職名	氏名	所属団体等
会長	新田 八朗	富山県知事
副会長	綿貫 勝介	トナミ運輸(株) 代表取締役社長
//	喜多 進	(公財)高岡市体育協会 会長
理事長	荻布 佳子	県教育委員会 教育長
副理事長	水落 仁	県生活環境文化部 次長
専務理事	東瀬 義人	(公財)県体育協会 専務理事
常務理事	笹林 一樹	(公財)県体育協会 常務理事
理事	浅地 曉夫	(公財)富山市体育協会 専務理事
//	池田やす子	県女性スポーツの会 副会長
//	老月 守	山野スポーツセンター 所長
//	大島 一恵	県教育委員会 保健体育課長
//	小林 福治	県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 幹事長
//	島谷 達雄	県生活環境文化部 スポーツ振興課長
//	島津 豊	(公財)魚津市体育協会 理事長
//	西川 友之	富山大学 名誉教授
//	西村 和人	(公財)高岡市体育協会 専務理事
//	布村 忠弘	スポーツクター-県公認スポーツ指導者協議会 会長
//	光安 淳子	県女子体育連盟 会長
//	横山 直一	(公財)砺波市体育協会 専務理事/県スポーツ少年団 本部長

役職名	氏名	所属団体等
理事	米山 隆	国立登山研修所 所長
//	長田 一政	県スキー連盟 理事長
//	川島 茂	(一財)県陸上競技協会 副会長
//	佐伯 徳生	(一社)県水泳連盟 理事長
//	横井 憲治	(公社)県サッカー協会 専務理事
//	植野 聡	県ボート協会 副会長
//	石田 義弘	県ホッケー協会 副会長
//	五十里勘司	県バレーボール協会 理事長
//	中浦 悟	県ハンドボール協会 理事長
//	楠 一雄	県柔道連盟 常任相談役
//	廣瀬 修	(一社)県ソフトボール協会 理事長
//	京田 和男	県バドミントン協会 理事長
//	寺 真喜子	県なぎなた連盟 理事長
//	山本 一登	県高等学校体育連盟 理事長
//	有澤 桂	県中学校体育連盟 理事長
//	弓部 裕明	県生涯スポーツ協議会 理事長
監事	高辻 則夫	県ソフトテニス連盟 理事長
//	白川 正秋	(公財)黒部市体育協会 副会長
//	松嶋 保子	県生活環境文化部 県民生活課 主幹

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども (中学生以下)	スポーツ活動	A1	800円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動 (指導・審判を含む)	C (55歳以下)	1,850円
	●A2区分で対象となる活動も補償されます。	B (55歳以下)	1,200円
大人 (高校生以上)	文化活動 ボランティア活動 地域活動	A2	800円
	準備・片付け・応援・団体の送迎	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ (指導・審判を含む)	D	11,000円
	個人活動補償型	AW	1,450円
子ども (中学生以下)	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW (55歳以下)	4,850円
	C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW (55歳以下)	5,000円
大人 (高校生以上)	C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW (55歳以下)	5,000円
	B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW (55歳以下)	5,000円

*特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
(注) C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和4年4月1日」を基準とします。

加入対象者
4名以上の団体・グループで加入ください。

保険期間
令和4年4月1日午前0時から
令和5年3月31日午後12時まで

保険内容
詳しい保険の内容は、
ホームページなどをご覧ください。

スポあんネット
\スマホにも対応/\

だれでも かんたんに 便利に 使いやすく
全面リニューアル!!

スムーズな掛金支払い

コンビニ、Pay-easyでお好きな時間に掛金が支払えます。

次年度の手続きがラク

前年度名簿を利用して加入手続きが行えます。

履歴管理、事故通知も

加入手続の履歴を一元管理。傷害保険の事故通知もできます。

公益財団法人 スポーツ安全協会 富山県支部 **LINE 公式アカウント**

TEL **076-429-1230** 電話受付時間 午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)

スポーツ安全保険 検索

友だち募集中!

編集後記

2022年、新型コロナウイルス感染症による影響で厳しい状況の中、1年延期で開催された東京2020オリンピック・パラリンピックに続いて、北京2022冬季オリンピック・パラリンピックが開催され、本県から4名の選手が出場し、私たちに大きな感動を与えてくれました。

また、県内においても関係の皆様のご尽力により、感染拡大防止策を講じながら様々な大会や事業が実施されました。スポーツ機会の喪失・制限により様々な影響が顕在化したことで、スポーツが日頃、我々の生活や社会に活力を与えるなど、優れた効果を及ぼす重要な価値をもつことが改めて示されました。

2023年も本協会では、引き続き全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指した競技力の向上と、県民が安全かつ快適にスポーツができるようスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興を図るとともに、健康・体力・生きがいづくりに寄与していきたいと考えております。

最後になりましたが、広報誌「体協TOYAMA」の発刊に際しまして、ご多用の中、本誌へ寄稿・写真提供をしていただきました方々に、心から感謝とお礼を申し上げ、編集後記とさせていただきます。